

志木第二中学校区 小中一貫校

志木の森学園

志木第二中学校だより

令和8年度4月号  
令和8年4月8日(水)  
志木市立志木第二中学校  
志木市館 1-3-1  
TEL:048-473-2379

<教育目標>

「共生（思いやりのある子）」

「自主（進んで学ぶ子）」

「自律（健やかな子）」

<校訓>

「勇気」 前に向かう強い心をもつ生徒

「信頼」 静かに考え他を認め励ます生徒

## 令和8年度 新たな一歩を

校長 石井 都

春風に桜の花が舞い散る中、令和8年度がスタートしました。

新入生の保護者の皆様、ご入学、誠におめでとうございます。また、新2年生、新3年生の保護者の皆様、ご進級、おめでとうございます。新3年生は、今年度、義務教育9カ年の最終学年となります。

私は、この度の人事異動で着任いたしました石井 都（いしい みやこ）と申します。島村 直人 前校長先生をはじめ、歴代の校長先生方が築き上げた本校の歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展できるよう努力してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

「志木の森学園 志木市立志木第二中学校」となり2度目の春を迎えました。今年度の生徒数は、新入生147名を迎えて、2年生が130名、3年生が129名の15学級、406名の生徒でスタートしました。

教職員一同、令和9年度、開校を迎える義務教育学校『志木の森学園』の教育目標である「共生（思いやりのある子） 自主（進んで学ぶ子） 自律（健やかな子）」を見据え、本校の校訓である「勇気 信頼」の実現に向けて、取り組んでまいります。

ところで、桜（さくら）という言葉は、「さ」という穀物の神様が、鎮座する場所「くら」という意味があります。古来、人々は、桜の咲き具合を見て、その年の収穫を占ったと言われていました。これが、花見のルーツとも言われています。時代や社会がいくら変化しようとも、桜を眺める人の中に日本人の心が奥深く宿っているのだと思います。教育もまた然り、時代が変化しようとも変わらないもの、生活や慣習の中に息づいてきたものを継承しながら、変化の激しい時代に対応できる生徒の育成を目指していきたいと思います。

『信頼され、生徒自らが成長を実感し続けていくことのできる学校 志木の森学園 志木市立志木第二中学校』を今年度のキャッチフレーズに、生徒が、前向きに主体的に活動し、一人一人が新たな一歩を踏み出せるよう、この一年間、教職員が一枚岩となり、教育活動を推進してまいります。

保護者、地域の皆様の一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

